

## 2004 年度 委員会活動成果報告

(2005 年 3 月 28 日作成)

委員会名	光環境デザイン WG	主 査 名：中村芳樹
所属本委員会 (所属運営委員会)	光環境小委員会	委員長名：井上容子
設 置 期 間	2003 年 4 月 ~ 2005 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	光に興味を持つ建築家と光環境研究者が、それぞれ別々に体系立ててきた知見を総合的にまとめ上げることを最終目標に、光に興味を持ち、光をデザインに積極的に取り込んでいる建築家を取り上げ、具体的な設計手法と光環境研究との関係を議論し、その結果を報告するシンポジウムを計画する。	
委員構成 (委員名(所属))	<p>石井大五(フューチャースケープ建築設計事務所) 井上容子(奈良女子大) 岩田利枝(東海大) 上谷芳昭(京都大学) 遠藤 和広((有)イオス設備工房) 小栗克巳 内田伸(石川高専) 幹事 小泉隆(九州産業大学) 佐藤勉(佐藤勉設計事務所) 主査 中村芳樹(東京工業大学) 野澤壽江((株)近田玲子デザイン事務所) 鈴木 広隆(大阪市立大学) 松下 進(松下進建築・照明設計室) 吉澤 望(東京理科大学)</p>	
設置 WG (WG 名:目的)		
2004 年度予算	45000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	9月15日・5名(まつもと市民芸術館にて)、光環境実測調査及びシンポジウム内容の打ち合わせ その他の審議事項はメールを活用して行った。
得られた成果	<p>(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無) 当初の予定通り、第4回光環境デザイン WG シンポジウム 「伊東豊雄が語る光と建築」を開催した。199名の参加者(内訳は、会員22名、会員外28名、学生149名)があり、内容、参加者数とも、満足のできるものであった。特に、会員外、学生に情報を伝達し、学会活動に関心を持っていただくことに成功したと考えている。これは、講師である建築家の伊東豊雄氏のお話だけでは、毎回のシンポジウムで報告している WG メンバー有志による光環境の測定、調査結果が評価されていることを示していると考えられる。また、メール審議では、光環境に関連したさまざまなキーワードの収集、整理が進められ、これらは、次年度への展開、特に、出版の可能性を検討する際に活用できる資料となっている。</p>
	委員会 HP アドレス：
目標達成度	(当初の活動計画と得られた成果との関係)

	<p>最も重要と考えていた200名程度の参加者を集めたシンポジウムの開催が実現し、参加者からの内容評価も高かった。本WGの活動は十分な成果を上げることができたと考えられる。</p>
その他評価すべき事項	